

市政に 対する 一般質問

〽〽7名の議員が質問〽〽

12月定例会の一般質問は、12月13日及び14日の2日間にわたり行われました。質問順は一括質問一括答弁方式と一問一答方式に分けず、抽選順となっております。質問の要旨は次のとおりです。

山田 裕一 白石市長選挙の結果について (一問一答方式)

大野 栄光 原発事故補償と健康診断について (一問一答方式)

伊藤 勝美 市が管理する橋梁について他 (一問一答方式)

菅野 恭子 子ども・子育て関連3法の具体化について他 (一問一答方式)

制野 敬一 放射能汚染対策について他 (二問一答方式)

四竈 英夫 DC(デステイネーションキャンペーン)の取り組みについて他 (一括質問一括答弁)

澁谷 政義 放射能に対する健康調査について (一問一答方式)

白石市長選挙の結果について

山田 裕一



【質問】今回の選挙は、2期8年の実績と第5次総合計画の推進を掲げられた風間市長と、まるで3年数ヶ月前の解散総選挙で民主党が掲げたマニフェストのような実現はほぼ不可能と思われる公約を掲げた元同僚との一騎打ちであり、市政の継続か刷新かが争点であったと考える。

【答弁】【市長】今までの経験を活かしながら、まずは復旧・復興を第一に考え、第5次総合計画を着実に進めていくことが私に課せられた使命だと思っております。

そこで今回の市長選挙の結果について市長の所見を伺う。

【質問】風間市政の2期8年間を財政運営から分析すると一般会計の基金残高は、ほぼ同額であるのに対して、市債残高が8年間で約57億円減少している。1年365日、8年で2千920日になるので一日当たり約200万円ずつ返済してきたことになる。健全な財政運営を堅持しながら、市民の要望に添えていくことが、市民満足度向上につながることを考えると、これまで以上の、めり張りある予算編成によって更なる市民サービスができるかと考える

【答弁】【市長】今までの経験を活かしながら、まずは復旧・復興を第一に考え、第5次総合計画を着実に進めていくことが私に課せられた使命だと思っております。

【質問】「真摯に受けとめる」ということの中身を具体的に伺いたい。